

事業名称
浄化槽施設特別会計事業

目的	生活排水を適切に処理し、公共用水域の水質を保全するとともに、公衆衛生の向上を図る	対象	施設を利用する市民
事業概要	○浄化槽市町村整備推進事業 ・緒方町で設置した市町村設置型浄化槽の維持・管理 【処理人口】 657世帯 1,720人 【管理基数】 669基		

255

2. 指標設定

成果指標	指標名	汚水処理人口普及率	目標年度	指標の設定理由			
	数値	53%	H27	総合計画/後期基本計画において、基本施策(3-1-2)の目標としてみるため			
活動指標	指標	a	浄化槽	b		c	
	数値	目標	15,970人	目標		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
汚水処理人口普及率	%	48.1 %	53.2 %	54.9 %
		90.8 %	100.4 %	103.6 %

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 浄化槽	人	14,739 人	16,673 人	16,943 人
		92.3 %	104.4 %	106.1 %
b		-	-	-
c		-	-	-
d		-	-	-

4. 課題と対応

課題
浄化槽の普及率は伸びているが、汚水処理人口普及率は、県下あるいは全国的に見ても下位に位置している。
対応（改善点等）
浄化槽(個人設置型)の普及を促進するとともに、農業集落排水施設への接続を促進する。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
うち経常経費		45,319	46,006	46,733	50,770
財源内訳	国費				
	県費	858	858	858	858
	市債				
	その他	861	1,951	2,047	1,015
	一般財源	43,600	43,197	43,828	48,897
うち経常					
事業費に係る人件費		-	-	-	-
事業費に係る人役		-	-	-	-

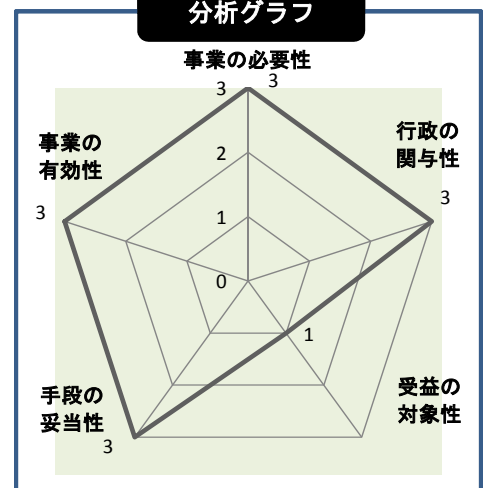
6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
起債の償還、施設の維持管理に一定の経費が必要となるため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 良質な水環境づくりのため、生活排水による公共用水域の負荷を低減させる必要がある。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により市が実施主体になることが定められている。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 一部の地域の住民を対象としている。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 汚水処理人口普及率を向上させるために必要な事業である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 汚水処理人口普及率が伸びている。

分析グラフ



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、未収金の回収に努めるとともに、適切かつ効果的な事業実施を図ること。経営のあり方を検討すること。